Letter of the M.Y. elementary school

ひ び き　南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい　かがやく子 ～

学校通信　NO.331
令和５年度　２月号
令和６年１月３１日

ICT 活用の今

副校長　浅野　真弘

学校の ICT 環境整備が進められ、南山田小学校の児童に一人１台の iPad が整備されてから、３年が経とうとしています。iPad 整備後に入学したお子さんは、初めから ICT 機器がある状態で小学校生活をスタートしています。

改めて学習のようすを見てみると、iPad 整備前と比べてずいぶん変化してきていることを実感します。学年によって活用の仕方はさまざまですが、一例を紹介します。

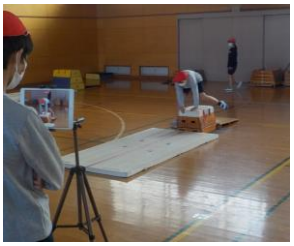
【国語や算数】自分の考えをロイロノートのカードに書き、グループや学級で共有することで、他の児童の意見の良さに気付いたり、より自分の考えを深めたりする。

【社会】疑問に思い調べてみたいことをＷｅｂ検索し、詳しく調べたり、新しい気付きに出合ったりする。また、学んだことをデジタル新聞などにまとめる。

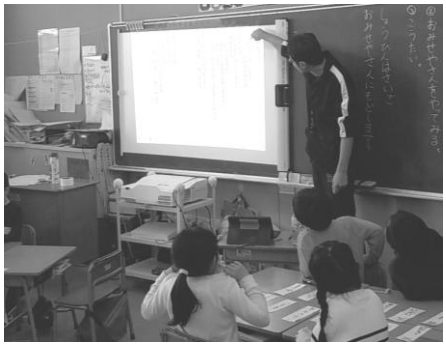
【体育】手本の動きを動画で確認し、意識したい動きをイメージしながら取り組む。また、自分の動きを録画してもらい、客観的に確認することで課題に気付く。

【図工】校内で見付けたものを写真に撮り、イメージを膨らませてより豊かな作品づくりをする。

【係活動や委員会活動】アンケートをしたり、活動紹介を作成したりする。



他にも、書ききれないほど多くの場面で iPad が使われています。

自ら課題を見付けて疑問をもち、主体的に取り組み、友達と協働して学び合い、解決しようと追及する力を育むために、より効果的に ICT 機器を使うことの重要性は、今後ますます高まっていきます。

本校では、今後も ICT 機器の効果的な活用を推進し、これまでの教科書、ノート等を使った学びと合わせて、より子どもたちが学びを深めることができるよう研究を続けてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。